

## 第 213 回 MINERVA ビジネスプラン発表会

【令和元年 12 月 10 日(火) 開催 会場: 岩崎学園 (新横浜 1 号館 8 階)】

### 1. クールフライヤー株式会社 代表者 山田 光二 氏 (<http://coolfryer.co.jp/>)

【住所】神奈川県横浜市泉区緑園 6-44-14 【設立】2014 年 7 月 【資本金】14,000 千円

【事業概要】揚げ調理は世界中で好まれている調理法ですが多くの課題があります。当社は世界で初めて油交換無しで油を常に新鮮な状態に保つ技術開発に成功。シンプルな機構と加熱制御のみでこれを実現、油ハネもせず、おいさと健康、安全性と快適性、経済性を高める画期的な製品です。2020 年に小型卓上機を発売、その後大型機及び家庭用へ展開します。揚げ調理を革新し、日本と世界の食文化にそして地球環境と SDGs に貢献します。

【コメント】業務用フライヤー製品市場としては国内 110 億円、世界 900 億円程度あり、緩やかに拡大傾向にあります。同社の特長としてはヒーター直下の油槽を効率よく冷却すること、本体からの排熱を最小にし、調理油層と低温油槽の熱移動をブロックすることで、揚げ調理の基本性能を劇的に向上させることが出来ます。上記ホームページのビデオご参照下さい。



### 2. 株式会社リージャー 代表者 笹原 敬久 氏 (<https://www.leisure.co.jp/>)

発表者 デメカル事業部 営業担当部長 柏木 久史 氏

【住所】東京都中央区日本橋人形町 2-33-8 アクセビル 2 階 【設立】2000 年 5 月

【資本金】811,862 千円

【事業概要】独自の技術で簡易に自己採血を行い、大手企業健保・自治体・生命保険会社で利用を進めて参りました。今後、経産省「健康経営」の下で「法人」に向けた「感染症由来のがん対策(胃がん)」の啓発活動を行い、多くの命を救うとともに大幅な経費削減を致します。その後、ネガティブなイメージのある血液検査をわくわく感持てる新しい文部科学省の視点(スポーツ)で目標を達成するための科学的な根拠を提供し、スポーツから健康を支えていきたい。さらには、輸入超過を改善するために、まずはインバウンド市場で日本の医療技術を世界に発信するための礎を構築したいと考えております。

【コメント】同社の超微量在宅自己血液検査サービス「デメカル」は、いつでも、どこでも誰でも採血出来るというのが基本コンセプトです。当サービスには競合他社は存在しておらず、また参入も困難なので、新規成長市場として今後が期待されています。



### 3. カノンキュア株式会社 代表者 堀川 武晴 氏 (<https://kanoncure.com/>)

【住所】鳥取県米子市西町 86 番地 鳥取大学医学部内 【設立】2016 年 4 月 【資本金】68,000 千円

【事業概要】肝疾患を対象とした再生医療等製品や医薬品を創出する「研究開発型創業ベンチャー」として事業展開を図る。

1. 再生医療等製品: 本来、骨、軟骨、脂肪に分化する間葉系幹細胞を独自に開発した化合物 IC-2 を用い、肝細胞化する技術により製造した細胞シートを、治療法のない非代償性肝硬変の治療薬として開発する。
2. 低分子化合物: 新規に合成した化合物を用いた肝硬変、肝細胞癌、大腸癌を対象とする創薬を行う。

【コメント】もともと同社は鳥取大学医学部の研究成果を活用して創業しました。ヒトの骨髄細胞から肝細胞を培養し、シート状にして肝臓の表面に貼り付けることで肝硬変などの病気を治療する「肝疾患治療用細胞シート」の開発を進めています。このシートは、まず自家の間葉系幹細胞にて肝移植ドナーを待つ患者への橋渡し治療となり得ることが出来るので将来的に期待が持てます。



### 4. 株式会社パルテック 代表者 高橋 忠仁 氏 (<https://www.paltek.co.jp/>)

発表者 FPGAソリューション事業部 西 祥平 氏

【住所】神奈川県横浜市港北区新横浜 2-3-12 新横浜スクエアビル 6F 【設立】1982 年 10 月

【資本金】1,339,634 千円

【事業概要】半導体製品の販売、受託設計サービスを中心にビジネス展開しており、今後はアプリケーションを含めたソリューション事業を強化し、よりお客様のビジネス発展に貢献できる体制を目指します。

今回、FPGA という半導体を用いた、金融やデータベース向けのシステム最適化ソリューションを構築することが出来、結果、従来より高速な処理を実現することで、新しい分野へのチャレンジになります。より多くのお客様へ弊社ソリューションを届けるために、パートナーになって頂ける方、またお客様を紹介させていただければ幸いです。

【コメント】FPGA とは『現場で構成可能な半導体』という意味です。現在、海外証券会社の FX 取引において大いに活用されています。FPGA にはハードウェアで行う処理を何度も変更できる、『汎用品として扱える専用品である』という特質があるからです。システムが高速化すればするほど収益が増加する FX 取引(金融分野)には最適なソリューションでした。



【呉副理事長からのご挨拶】この活動は2000年からスタートして、徐々に輪を広げています。実際、ベンチャーチャレンジは増えてきていますし、同時に投資側も増えています。現在の投資資金 4000 億円のうち、その半分が事業会社からの資金になります。しかしリスクが取れる資金という実感はありません。ミドルやレーターステージへの投資資金は出てきていますがシードやアーリーまではなかなか行き渡らないのが現状です。創業 1~2 年目の企業の売上が急激に上がってきています。新しいマーケットを作ろうとする人は何度か壁にぶち当たり、それを乗り越えた人が勝者になります。一度、ルールを作ってしまうと大手企業からも注目されるし、新しい市場形成も出来ます。来年も色々な意味で期待したいです。

【感想】今年最後の発表会となりましたが大勢の方々にご参加を賜り、大変盛況な会になりました。来年も魅力ある企業にたくさんご発表頂きたいと願っております。

NPO 法人ベンチャー支援機構 MINERVA  
(株) TNP パートナース、(株) TNP オンザロード  
(株) TNP スレッズオブライト  
井汲 美樹